

# だいとくん通信

2018年早春号



## 醍醐図書館キャラクター「だいとくん」

この冬はかなり寒い日が続きましたが、ようやく日が長くなって寒さもやわらいできましたね。

春が近づくにつれ、木や草花の芽がふくらみはじめ、動物たちも活動をはじめます。わたしたちも、始まりの季節に向けて動き出してみませんか？

早春号では、この季節にぴったりの本を紹介します。

Vol.10 平成30年3月  
京都市醍醐図書館

# ときめく花図鑑

中村 文／文 山と溪谷社

# 草花



3月は「花見月」「桜月」とも言われるそうです。やはり春と言えば花見ですね。暖かくなってくると、草花もきれいに咲き始めます。いずれ散ってしまうので見られる期間は限られていますが、それもまた風情があって美しいですね。本書では主に京都で見られる花を中心に紹介しています。

その他おすすめの本

- ★『小さな花束の本』小野木 彩香／著 誠文堂新光社
- ★『はじめてのスワッグ』岡本 典子／著 文化学園文化出版局
- ★『小さな花飾りの本』吉田 美帆／著 誠文堂新光社

# ラクしておいしいあつまりごはん

城川 朝／著 講談社

# 料理



春は別れの季節でもあります。そんな時期だからこそ家族・仲間と集まって美味しいものを食べたり、会話を楽しんだりするのも良いですね。本書ではそんな時に活躍してくれそうなレシピが紹介されています。“当日に材料を買って、1～2時間で仕上げる料理を考えてみました。”という一文に手軽さを感じます。気負わず楽しめるといいですね。

その他おすすめの本

- ★『お料理上手と思われる持ち寄り&さし入れレシピ』  
馬場 香織／著 メディアファクトリー

# 物語

## 桜の下で待っている

彩瀬 まる／著 実業之日本社



これから暖かくなり、外出すると季節の移り変わりを実感する機会も増えますが、季節感のある小説を読み、季節を楽しむのもいいですね。そこで、今回は春をテーマにした小説を紹介します。本書は「ふるさと」を感じさせる内容となっており、登場人物の感情に共感する方も多いのではないのでしょうか。

その他おすすめの本

- ★『春、戻る』瀬尾 まいこ／著 集英社
- ★『よっつ屋根の下』大崎 梢／著 光文社
- ★『春や春』森谷 明子／著 光文社

## 上流の日本語

本郷 陽二／著 朝日新聞出版

# 人間関係



春から新生活をスタートされる方も多いと思いますが、新しい人間関係が不安な方も多いのでは。新たな出会いが生まれるこれからの季節に向けて、人との接し方や基本的なマナーをおさらいしてみませんか。本書では、挨拶や会話の広げ方のコツなど綺麗な日本語を紹介しています。

その他おすすめの本

- ★『自分の思いを上手に伝える話し方のルール』  
大串 亜由美／著 日本実業出版社
- ★『一瞬で好かれる初対面の技術』谷澤 史子／著 すばる舎

## 醍醐図書館に最近入った主な本

### 小説

『逃亡刑事』 中山 <sup>しちり</sup> 七里

『タンゴ・イン・ザ・ダーク』 サクラ ヒロ

『ひよっこ社労士のヒナコ』 水生 <sup>みすき ひろみ</sup> 大海

『僕らだって扉くらい開けられる』 行成 <sup>ゆきなり</sup> 薫

『悲しい話は終わりにしよう』 小嶋 陽太郎

『ツノハズ・ホーム賃貸二課におまかせを』 内山 純

### 料理本

『有元葉子の料理教室 春夏秋冬レシピ』 有元 葉子

『老舗に教わる抹茶おやつ』 京都・丸久小山園

### 児童書

『地球の森のハートさがし』 藤原 幸一

『食べるってどんなこと?』 古沢 <sup>こうゆう</sup> 広祐

『すごいぞ!ニッポン美術』 結城 <sup>ゆうき</sup> 昌子

※予約が多数入っている場合があります。ご了承ください。

CD や DVD はお取り寄せができます。

ひとり2点まで借りることができます。

詳しくは職員までお尋ねください。

発行：京都市醍醐図書館 TEL:572-0700